



## 『卓話：人にはそれぞれの職業奉仕』 梅澤 元彦 様

### 【会長挨拶】 北村 淳 会長

1月は職業奉仕月間ということで、今週から3週に渡って職業奉仕関連の例会を開催いたします。第1回目の今日は地区職業奉仕委員会から梅澤委員長にお越しいただきまして「人にはそれぞれの職業奉仕」ということでお話をいただきます。第2回目の来週は「人にはそれぞれの職業奉仕」の卓話を元に「私の職業奉仕」をテーマにグループディスカッションを行います。そして第3回目で各グループの発表を行うという流れです。詳しい内容は吉田職業奉仕委員長から説明があるかと思えます。

私からは「ロータリーの目的」を職業奉仕の視点から見てみたいと思います。皆さんご存知の「ロータリーの目的」ですが、ロータリーの看板である職業奉仕のことが書いてあります。活動計画書をお持ちの方は最初のページをご覧ください。

”ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。”

この”意義ある事業”を皆さんの職業である事業に置き換えてみると分かりやすいです。

”ロータリーの目的は、皆さんの事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。”

具体的に次の4項を奨励することにある、とあります。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

この項は顧客を広めることによって職業奉仕の機会とすることと読めます。顧客が多くなれば自ずと職業奉仕の機会も増えてゆきます。

第2項が一般的に職業奉仕の土台と言われており、3つのことが書かれています

\*職業上の高い倫理基準を保つこと

\*役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること

\*社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

この3つです。ロータリーでは、高潔性と高い倫理基準が重視されています。その中でロータリアンによって生み出されたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つで、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。「四つのテスト」は皆さんご存知です。「ロータリアンの行動規範」は、ロータリアンとして、私は以下のように行動する。ということが書かれています。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；とあります。ここで重要なのは、個人として、日々、実践する、(I serve)というところです。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、その自伝「ロータリーへの私の道」の中で「ロータリーの会員は、そのひとりひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である」と書いています。クラブ会員は自己の職業の代表者としてロータリークラブに入会したのですから、同僚ロータリアンに対しては自己の職業の代表者となり、ロータリアン以外の人、特に職業上の知己に対してはロータリーの精神を代表する責務を負います。この二つの責務が職業奉仕の基盤となります。

### 《例会プログラム》

#### 【司会】

佐保 勝彦  
例会向上委員

#### 【開会点鐘】

北村 淳 会長

#### 【ロータリーソング】

ソングリーダー  
田中 くに子 君  
『我等の生業』



#### 【ビジター・ゲスト紹介】

国際ロータリー第2750地区  
職業奉仕委員長  
梅澤 元彦 様

#### 【出席報告】

柴田 健介 委員長

#### 【ニコニコ報告】

凶子 久雄 委員長

#### 【委員会報告】

職業奉仕委員会

#### 【卓話】

国際ロータリー第2750地区  
職業奉仕委員長  
梅澤 元彦 様



お弁当：なか安

このように考えると、ロータリーの他の奉仕部門がクラブ会員全員による協力活動(We serve)を強調しているのに対して、職業奉仕はロータリアンひとりひとりが職業に携わっている中で自ら奉仕する(I serve)ことを主として強調しています。多くの奉仕団体がWe serveであるのに対して、ロータリーはI serveを基盤としているところが大きな特徴となっています。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。ロータリーは国際的な組織ですから、ロータリー財団を通じての職業奉仕プログラムがいくつかあります。ロータリーの職業研修チーム(VTT)などです。

このように「ロータリーの目的」を職業奉仕の視点から見ると、ロータリーの職業奉仕の目指しているものが見えてくると思います。職業奉仕は一人一人が高潔性と高い倫理基準を持って日々実践してゆくものです。本日の地区委員長のお話と合わせて一人一人が考えを深めていただければと思います。

次回来週は、クラブで行う職業奉仕について見てゆきたいと思います。

## 【幹事報告】 伊東 秀章 幹事

①東京八王子RC、東京八王子西RC、東京八王子東RC、東京八王子南RC、東京八王子北RCより、2月例会の予定が届いております。また、東京i シティロータリークラブより、例会場の変更の案内が届いております。



②米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま」が届いております。

③一般財団法人 比国育英バギオ基金から、「バギオだより 1月号」が届きましたので、レターケースに入れております。

④3月6日は、オープン例会を予定しております。本日、ちらし及び参加者連絡票をレターケースに入れておりますので、お知り合いをお誘いする際にご利用ください。

⑤1月1日に発生した能登半島地震を受け、ガバナー事務所より、支援金の依頼がございました。これを受け、先日の理事会の決定により、会員1名あたり1,000円と計算し、計34,000円を送金いたしました。

## 【社会奉仕委員会】 吉田 宇秀 委員長

今日から3回シリーズの職業奉仕月間が始まります。今日は地区委員長の梅澤様に卓話をいただきまして、来週はその卓話を元に4つのグループに分かれてグループディスカッションをしていただき、最後の31日の夜例会において各グループの代表者に発表していただき、その発表を元に懇親会を行うスケジュールリングで考えています。

31日の会費3,000円を徴収したいと思いますので、私か事務局の方をお願いいたします。



## 【卓話：人にはそれぞれの職業奉仕】

### 国際ロータリー第 2750 地区 職業奉仕委員長 梅澤 元彦 様

本日は基本的な職業奉仕のお話をさせていただこうと思います。

#### 世界3大奉仕団体とは？

世界に3大奉仕団体があるのですがご存じでしょうか？ロータリーとライオンズとキワニスです。

ロータリークラブがウィキペディアにどう書いてあるかというと、「職業奉仕と、そこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とする。基本的には「I serve: 私は奉仕する」、クラブとは「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」であり、国際ロータリーはそのクラブの連合体とされているが、個人のみならずクラブ単位や国際ロータリーとしての奉仕プログラムも行われている。」と書いてあります。ウィキペディアには職業奉仕というキーワードまで書いてあります。

ライオンズクラブのホームページはロータリーと似通っています。ウィキペディアにはライオンズクラブはこう書いてあります。「スローガンは"Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety"（「自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる」）である。モットーは"We Serve"（「われわれは奉仕する」）であり、独力ではなく集団の力で、経済力のみならず知恵と労力をもって奉仕するというライオンズクラブの特徴が表現されている。」と書いてあります。



まずウィキペディアの時点でI serve と We serveという言葉が出てきていて、明らかにロータリーは個人で奉仕をする、片やライオンズは皆で奉仕をしよう、この違いが明確に出されています。

キワニスの活動の特徴は世界の子どもたちに奉仕するであって、子どもを第一に考える奉仕団体ということでありました。

さて、ロータリーとライオンズですが、ロータリーは社会を良くしてゆく単位は自分であるという所、ライオンズはその単位が団体である所、これは職業奉仕の基本概念なので、自分が社会を良くしてゆくという概念、これは他の奉仕団体にはないロータリーにしかない概念なので、まずこれをきちんと押さえておいていただきたいと思います。

#### 4つのテスト

このそれぞれの言葉についてもう少し掘り下げてみたいと思います。こちら最も有名なロータリアンの方、カーネルサンダースさんです。カーネルサンダースさんは常にこの「4つのテスト」を大事にしてビジネスを展開してきました。職業奉仕はこの「4つのテスト」が基本のきの字になります。ただこの「4つのテスト」の翻訳の言葉が観念的すぎてピンとこない人が多いかなと思うのです。思い切って私がビジネス向けの翻訳を作ってみました。ロータリアンが自分がビジネスを行うにあたって嘘や偽りがいないか、が一つ。二つ目、ビジネスに関わる全ての人に公正なものを提供できているか。そして三番目、同じく関わる全ての人に信用と信頼を築けるビジネスが出来ているか。そして最後、これも関わる全ての人に利益があるビジネスが組み立てられているか。この4つを基本としてカーネルサンダースさんはビジネスを成功させてきました。ですので「4つのテスト」は具体的にはこのようなイメージでビジネスをやってみよう、ということになります。

#### それでは質問です

○か×かでお答えください。とあるロータリアンが言いました。今年私は自分の仕事を頑張ってもものすごく大きな利益を出しました。そしてその利益の大半をロータリー財団に寄付をしてガバナーから表彰をされました。これは私としては立派な職業奉仕だと思うのですがどうでしょうか？

寄付というのは尊い善行です。寄付をすることで個人では成し得ないような大きな奉仕事業とか大きなインパクトを社会にもたらすことが出来ます。でもそれはある意味ただの奉仕であって世の中にある奉仕団体でやっていることではありません。赤い羽根に寄付をしたとしても立派な奉仕ではありますが職業奉仕ではありません。職業奉仕というのは自分自身の仕事を通して社会とか人とかに良いことをしてゆくのが他の奉仕と違うところであります。みなさんそれぞれのご職業をお持ちですから、職業奉仕はこういうものだ、ではなくて皆さんそれぞれの職業に応じたそれぞれの職業奉仕があるということになります。ですので皆さんが自分の仕事を通して何が出来るのかを皆さんが考えていただかないとなかなかこの職業奉仕のゴールはないのです。ロータリアンは普通の奉仕だけでは無くてその上があるということになります。ロータリーは寄付や奉仕活動をするのが最終目標ではありません。自分の仕事でもこの「4つのテスト」で奉仕の理念を持って世の中に奉仕し貢献する。このI serve の概念が真のロータリアンの姿であるということなのです。

#### 聖職者とビジネスマン

そもそもこの職業奉仕は職業という言葉と奉仕という言葉が一緒になっています。職業は自分のためお金儲けの手段が職業で、一方奉仕はお金儲けではなくて人のためを考える奉仕です。お金を儲ける話と無償の愛で奉仕するというのは全く相反する概念なので、これを一つに止揚してゆく、これを我々は求められている訳です。そこで先ほど冒頭にあった聖職者とビジネス。聖職者はProfession。聖職者は人々にひたすら神の道を説いて愛情と微笑みをもって悩みを救う。聖職者はお金を貰うことが目的ではなくてあくまでも自己犠牲で世の中を良くしてゆく、これがProfessionです。片やビジネスは事業による自らの経済的成功・繁栄を目指す、対価を要求するのがBusinessです。この2つが合体した職業奉仕、いわゆるProfessionの精神を持ってBusinessの世界をコントロールしてゆこう、聖職者の心で商売をしよう、となります。この考え方はよくよく考えると日本には'三方よし'という素晴らしい概念があって、いまの話は当たり前と思っている方が多いと思います。ここがアメリカのロータリーの考え方と日本の考え方の大きく違う部分であります。職業奉仕という概念ができたのは、アメリカの中でも経済が荒んでいた時代、そのような時代背景の中でいいビジネスをして世の中を良くしてゆこうと立ち上がったロータリアンがいたというのが発端です。片や日本には三方よしの概念があるので、ここの温度差がRIと日本であったりします。

#### 三方よし

皆さんご存じだと思いますが、先ずみんな(お客様)が喜ぶものを作ってゆこうよ、社員も含めた自分たちにいいものを作ってゆこうよ、そこで利益が出たらみんなのため社会のためにいいものをしてゆこう、これが近江商人の言う三方よしであります。



## 人にはそれぞれの職業奉仕観

職業奉仕とはロータリアンに24時間365日常に奉仕の心で仕事をすべきだということではなくて、もしこれをやってしまうと本物のProfession聖職者になってしまうので、我々は責任を持って会社を運営したりしている皆さんですから、職業人である以上は先ずは自分のビジネスの成功を目指して最大限の努力はするべきだと思います。その上で日々の仕事の中でどちらを選んだら良いかという分かれ道になった時にロータリアンらしさと奉仕の心を思い出してそれに従ってどのような決断を下すべきかきちんと考えて行きましょう。そのようなバランスをどうとってゆくかを考えるのがこの職業奉仕というところであります。

この後、第2回第3回の職業奉仕例会があるとのことですので、I serve という考え方で自分の会社で何が出来るのかを考えるのも一つですし、皆さまそれぞれお持ちのプロフェッショナルな技術やサービスを使って日野ロータリーとしてどんなことが出来るか考えるのも一ついいディスカッションになるかなと思っています。

### 4つのテスト（ビジネス向け）

1. 嘘や偽りはないか？
2. 関わる全ての人に公正か？
3. 信用と信頼を築けるか？
4. 関わる全ての人に利益があるか？

### 職業（現実）vs 奉仕（理想）

相反した概念を  
止揚させること

## 【出席報告】 柴田 健介 委員長



<事前の MU>

岩田 和頼 (理事会)  
小倉 裕美 (次年度理事会)  
疋田 久武 (理事会)

<前回の MU>

阿野 正揮 (クラブ奉仕)

<前々回の MU>

石場 裕美 (理事会)、岩田 和頼 (もみじ灯路茶会手伝い)

<前々々回の MU>

岩田 和頼 (まちおこし連絡会)、柴田 健介 (クラブ奉仕)、森原 豊 (RLI パート II)、山下 まんぼう (ローターアクト委員会)、疋田 久武 (クラブ奉仕)、高城 秀一 (理事会)

	会員総数 (出席免除数)	出席総数 (免除者出席数)	MU	欠席	出席率
本日報告(1/17)	34 ( 0 )	25 ( 0 )	3(0)	6	82.353%
前回訂正(1/10)	34 ( 0 )	27 ( 0 )	1(0)	6	82.353%
前々回訂正(12/20)	34 ( 0 )	28 ( 0 )	2(0)	4	88.235%
前々々回訂正(12/13)	34 ( 0 )	19 ( 0 )	6(0)	9	73.529%

## 【ニコニコ報告】 関子 久雄 委員長

**本日のニコニコ： 5,000 円 / 累計 315,007 円**

**ビジターフィー： 0 円 / 累計 33,000 円**



北村 淳 君 地域職業奉仕委員長 梅澤様ようこそお越しくださいました。本日の職業奉仕の卓話よろしくお願ひいたします。

まんぼう 君 梅澤地域職業奉仕委員長、本日はよろしくお願ひします。

西山 尚之 君 早退します、スミマセン

## 東京日野ロータリークラブ会報

事務局：〒191-0031 東京都日野市高幡 3-8 田中ビル 3 階  
TEL：042-594-3711 fax：042-593-0510  
例会：毎週水曜日 (12:30 より) 例会場：高幡不動尊客殿  
URL：<http://www.hino-rotary.org> 桃源院青雲 5 階(2023.7.1~)  
メール：[info@hino-rotary.org](mailto:info@hino-rotary.org)

会長：北村 淳 幹事：伊東 秀章  
会報委員会：山口 徹雄 (委員長)  
疋田 久武 (副委員長)  
小島 馨  
菅原 直志  
山下 雅裕